

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 赤穂健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none">・幼児,小学生の肥満児出現率は、県平均より高い。長期間の臨時休校や外出自粛による食生活や健康への影響がみられた。(R1管内身体状況調査結果、学校保健統計調査等)・食育に関心のある人の割合は、各目標値を下回っている。(兵庫県第3次食育推進計画、管内各市町食育推進計画より)・各家庭において健全な食生活が実践されるよう子育て世代へ働きかけをしていく必要がある。(管内実施「食育セルフチェック」において子育て世代と他世代との比較による)・関係機関の連携によるさらなる取組みの充実を図る必要がある。
今年度の推進方策	<ul style="list-style-type: none">・子育て世代の食の課題の明確化および食に関する知識の向上・関係機関、団体等の連携強化による食育推進体制の充実
成果	<ul style="list-style-type: none">・会議の構成機関・団体において書面と参集者を縮小して会議を行い、地域の取組み状況や課題について協議および情報共有ができた。また、研修会により資質向上と各取組みの充実につながった。・関係機関、団体と協働で普及啓発媒体の作成ができた。・子育て世代の食に関する課題やニーズを把握し、効果的に情報提供ができた。
今後の方向性	国、県および各市町食育推進計画を踏まえた地域課題の共有により、引き続き各関係機関・団体の取組の更なる充実にむけて連携強化を図る。

2 会議の開催状況

実施日時	令和2年11月16日 13:30~14:20
参集者 (団体数 及び人数)	赤穂市立学校給食センター、上郡町立学校給食センター、相生市教育委員会、相生市保健センター、赤穂市保健センター、上郡町保健センター 赤穂健康福祉事務所 7機関9名
協議内容	協議 (1) 各取組み状況について(取組み計画の進捗状況、課題等) (2) 令和2年度健やか食育プロジェクト実践活動について (食育推進普及啓発媒体の協働作成について) ※今年度は、参集者縮小により会議を実施 6月に全20構成機関・団体は書面による協議・情報共有を実施
今後の方策	引き続き地域課題の明確化と課題解決に向け連携した取組の充実を図る。各々の取組においても目標や評価について数値化することを目指す。

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	食でつながる元気な地域づくり～プラス1の実践で 食育力アップ～		
対象及び参加者数	対象①子育て世代 約300名 対象②健やか食育推進会議関係機関・団体 17名		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	【1】 (1) R2.7月 (2) R3.2月	対象① (1) 食育アンケート① (課題、ニーズ等の把握) (2) 食育アンケート② (活用状況の把握等)	相生市・赤穂市・上郡町・保育所・認定こども園・幼稚園等、赤穂健康福祉事務所
	【2】 (1) R2.10月 (ひょうご食育月間) (2) R3.1月	対象① 食育普及啓発媒体作成・配布 (紙・データ配付、ホームページへの掲載等) (1) 食育だよりNo.1 (アンケート結果の概要、ひょうご食育月間のPR、食育レシピ等) (2) 食育すごろく(地域版) 食育だよりNo.2、No.3	相生市教育委員会、赤穂市立学校給食センター、上郡町保健センター、相生市、赤穂市、上郡町、赤穂健康福祉事務所
	【3】 11月16日(月) 14:30 ～15:40 <場所> 赤穂市総合福祉会館	対象② <食育推進研修会> 1 講話 「子ども食堂からみえる食育の取組み」 2 情報提供 (1) R2年度子育て世代を対象にした食育アンケートの結果について (2) 幼児・学童期における身体状況調査の結果について	あこう子ども食堂代表 岩崎 由美子 氏 赤穂健康福祉事務所
成 果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活様式が変化する中で、子育て世代の食に関する課題を把握し、ニーズに応じた普及啓発媒体を作成することができ、食育への関心や実践力の向上につながった。 デジタル化の推進に向けて課題を検討することができた。 食育研修会では、子ども食堂における共食や食体験、フードロス等を通じた食育の取組について理解が深まった。 <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の食育への関心度および実践度 (アンケートより) 食育に関心がある人の増加 ④80%以上 → 1回目 87.9% 2回目 91.2% ⑤ 食育を実践する人の増加 ④50%以上 → 1回目 38.3% 2回目 74.0% ⑤ 研修会の内容の理解度 内容について知識や理解が深まった人 ④90% → 93% 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 食育を「実践」する人の割合を増加するための食環境整備 暮らし方や働き方の変化、デジタル化に対応した食育の推進 		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

～食でつながる元気な地域づくり～

令和2年度 健やか食育プロジェクト事業

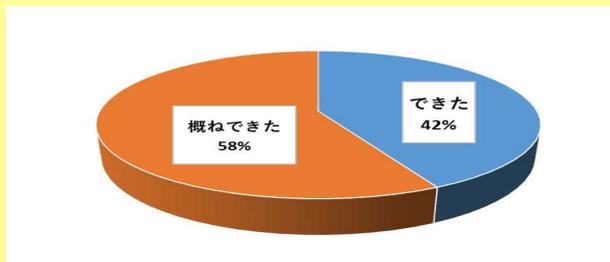
健やか食育推進会議

構成：20機関・団体

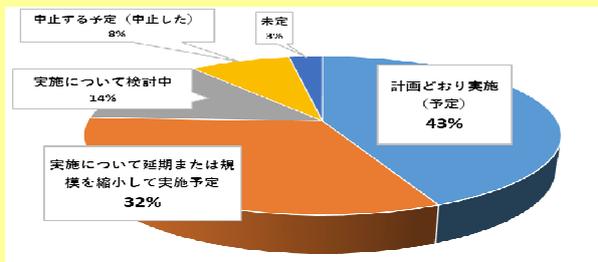
内容：・第3次食育推進計画の重点課題と取り組みの柱に基づいた関係機関・団体間の実践活動の調整、連携体制の強化
 ・食育活動のための地域資源（人材・施設・財源等）に関する情報収集
 ・食育実践活動の企画・運営・評価
 ・食育活動に資する調査研究
 ・市町食育推進計画策定後の取組支援

1. 今年度は、書面により各取組み状況や課題の情報共有を実施（20機関・団体） （昨年度の事業評価、今年度の事業計画、課題等）

R1年度の取組みの目標達成度について



R2年度の取組みの実施状況について



2. 健やか食育推進会議を開催し実践活動に係る連携体制の調整(参集者縮小:7機関)



- ・SNS や Instagram で情報発信している
- ・動画を作成して食育の普及啓発をしている
- ・感染症予防対策により計画どおりに実施できていないので、別の方法を模索している 等



3. 構成機関・団体の担当者を対象に資質向上を目的に食育推進研修会を実施(14機関・団体)

- 1 講話「子ども食堂からみえる食育の取組み」
 講師 あこう子ども食堂 代表 岩崎 由美子 氏
- 2 情報提供
 - ・R2 食育アンケート(1)の結果
 - ・R2 幼児・学童期における身体状況調査の結果



【アンケートより】

- ・「子ども食堂」について知識や理解が深まった
 → 「はい」と回答 93%
- ・「食事を通して居場所をつくる」ということが印象的だった。
- ・子ども食堂を支える地域の力の重要性を感じた。
- ・さまざまな関係部署や団体等が関わることで食育を普及する場であるとイメージが変わった。



「SDGsの実現」に向けた
 食育の取組みの参考に！

～食育実践事業～

プラス1の実践で食育カアッ!



食育アンケート（1）の実施

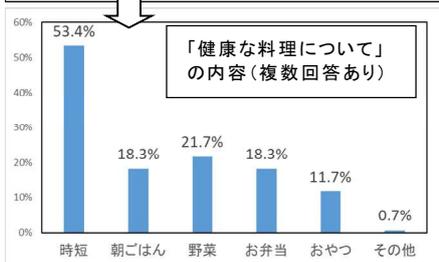
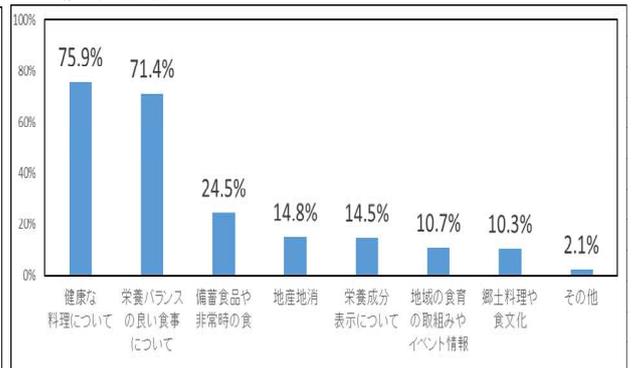
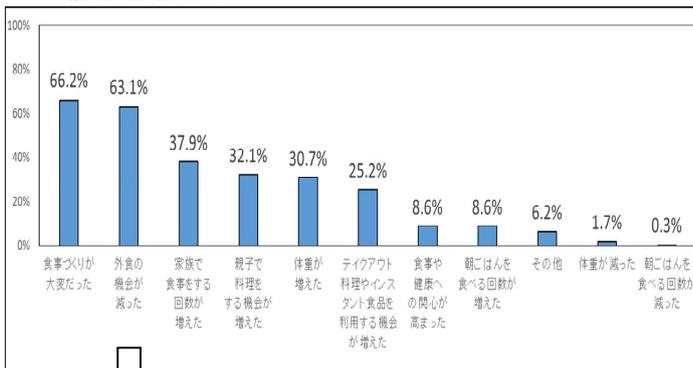
【対象】子育て世代 約300名（回収率96.3%）

【内容】現在の食生活の状況や食育への関心度、実践度、情報の入手先、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による外出自粛中の食生活の状況について調査

～食育に関心がある人は87.9%、知りたい情報は「健康な“時短”料理」に多く回答～

【食育に関することで気になることや知りたい情報】
（複数回答あり）

【外出自粛中の食生活での変化や気になることについて】
（複数回答あり）



家庭での食を通じたコミュニケーションの時間が増加していることが示唆されたが、外食の機会が減り、休園・休校による子どもの昼食づくりにおいて料理や栄養バランス考えることに負担を感じた保護者が多かった。子どもの生活リズムにも変化があり、運動量の減少やおやつの回数の増加がみられ、肥満児の割合が増加*していた。
（*管内幼児学童身体状況調査結果より）

食育すごろく（地域版）、食育だよりの作成・配付（健康福祉事務所 HP へも掲載）

【作成協力】赤穂市・上郡町各学校給食センター、相生市教育委員会、各市町保健センター等

食育アンケート（2）の実施

【対象】子育て世代 約300名（回収率 94.4%）

【内容】食育への関心度、実践度、普及啓発媒体の活用状況等

【結果】☆食育に関心がある人 91.2%（前回アンケートより 3.3%UP!）

☆食育を実践している人 74.0%（前回アンケートより35.7%UP!）

☆普及啓発媒体の活用度 67.4%（「参考になった」と回答した人の割合）

＜意見欄より＞

- ◎ 食育について意識するようになり、食事を通して家族の健康を考える機会になった。
- ◎ 普段、何気なくしている行動が食育の実践につながっていることが分かった。 など